「私にとっては自治の学校でした」

阪神・淡路大震災から30年、
みんなで考える、防災・地域。

２０２５年

8月19日(火) 13時30分～15時30分

立花南生涯学習プラザ（栗山町２-２５-２８）

ゲスト

稲村 和美さん

園田学園大学 法人本部長

大学在学中に阪神・淡路大震災が発生、避難所でのボランティア活動に参加。その後「神戸大学総合ボランティアセンター」初代代表。避難所は「自治の最前線、みんなで決めたルールはこんなに守られるんだ」と実感、普段の生活でもこういうことができないかと、民間企業を経て政治の現場へ。県議会議員7年半、尼崎市長を12年経験。

自身の原点は「自治のまちづくり」現在もバリバリの尼崎「市民」。

災害が発生すると「自分にも何かできないか」と、災害ボランティアや募金活動に参加され、「自分事」として被害を受けた地域や自分が住む地域の安全等に思いをはせるという方も多いのではないでしょうか。

ゲストの稲村和美さんも、阪神・淡路大震災でのボランティア体験が原点となり、「市民主体のまちづくり」にめざめた一人です。

今回はゲストの経験を通じて、普段の地域活動やボランティア活動が「もしもの災害」の時にどうつながるのか、参加者同士で交流、まなびあいましょう。

また、尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンターが設置訓練を行う「災害ボランティアセンター」等の取り組みについても、ご紹介します。

【定員】事前申込み40人

▸電話、メールまたは右のフォームで
「名前/所属(任意)/人数/連絡先」をご連絡ください。

申込みフォーム

【お問合せ】

電　話　06-4950-8863（平日9時～17時30分）／ファクシミリ 06-4950-8913

メール　amavc@dream.ocn.ne.jp

【主催】尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター

＊大雨または暴風警報等が発令された場合、事業を中止します